

「校区変更や統廃合を含め、適正規模・適正配置に向けた取組を進める」とあるが、ロードマップと令和8年度に取り組む内容

管理部 教育環境整備課
学校教育部 学校教育課

1 ロードマップについて

本市全体の適正規模・適正配置に向けたロードマップは、地域ごとに実情が異なることから作成は困難と考えています。そのため、現在は、規模に課題のある学校・地区に、地域住民・保護者・関係団体・学校の代表者で構成する検討委員会を設置し、教育環境の適正化に向けた議論を進めています。その場で、方向性や方策がまとまった段階で、地域・保護者の意見を聞きながら、具体的なスケジュールやロードマップを示して取り組んでいきます。

2 令和8年度に取り組む内容

(1) 宝塚第一小学校

令和5年度から導入している通学区域の弾力的運用(就学学校の変更)の申請状況や旧宝塚ホテル跡地に建設された大規模集合住宅の児童数への影響を注視し、今後の方向性を決定していきます。

(2) 長尾小学校

体育館の狭小化・狭隘化の解消のために、体育館の建て替えと校区分離の検討について方向性を検討していきます。

(3) 中山台地区小中学校

令和7年8月から始まったパナソニックホームズ株式会社と公民連携による「中山台ニュータウン」再生事業と歩調を合わせて学校の活性化に向けた取組を進めていきます。

(4) 西谷地区園小中学校

国際バカロレア教育の調査研究を行い、候補校に向けた準備を進めます。

(5) 光明小学校

小規模校であることの課題を整理し、学校統合を含めた取組を進めていきます。